

中東地区内で長年地域清掃活動に挑戦し続けている高校、早鞆高等学校の美化美化（ぴかぴか）大作戦に同行した。令和2年12月4日（金曜日）11時40分、生徒・教職員合わせて217名の大部隊は6つのコースに向けて出発。筆者は田中川方面のグループに。1時間ほどで大量のごみ（写真）を回収、作戦は終了した。下関市が平成20年（2008）から始めたこの作戦は当初から学校企画として毎学期、年3回実施している。今回は、コロナ禍の中、参加人員制限の実施となった。1年生の美化委員及び希望者でこれだけ参加したのにはビックリ。ペットボトル、缶、たばこの吸い殻、包装紙、布類、ひいては車のホイールカバーなど多種にわたり、集められたごみは生徒たちが、燃えるごみ、不燃ごみに丁寧に分別、それぞれの袋に収められた。

田中川周辺は、県外、市外の方が棕野トンネルを抜けてまず眼にする玄関口である。柳並木、つつじの植え込みが続いており、行政

が定期的に草刈りなどの管理をし、比較的環境は保たれてはいるが、マナーの悪い連中のポイ捨ても結構多い。生徒たちは、植え込み、側溝の中まで手を突っ込んで懸命にごみ拾いに挑戦していた。生徒たちに感想を聞いてみると「ごみ拾いは気持ちいいよ」「でも何故こんなに捨てられているの」「マナーの欠如・・・ひどいね」と言いながら何かを感じとったのでないだろうか。今回のようなボランティア活動を通じて将来大人として、社会人として生かされていくことを願うところである。

この活動に学校として毎年挑戦し続けていることへの敬意と、学校と地域のつながりが一層深まり、清々しい風が地域に広がればと期待している。

最後に、未来を担う生徒たち並びに教職員の方々にこれからも継続できますよう、地域と共に絆が深まればと思います。皆さんお疲れ様でした。

（地域づくり部会 田中）



集められたごみの多さにビックリ



コロナ禍、全員マスクして頑張りました



植え込みの中まで真剣にごみを探しています。ご苦労様でした。